



覆工の変状確認ができ、  
はく落対策を兼ねた導水工法

# SHO-BOND SBクリアドレーン工法<sup>®</sup>

透明FRP板を用いたトンネル漏水対策工法

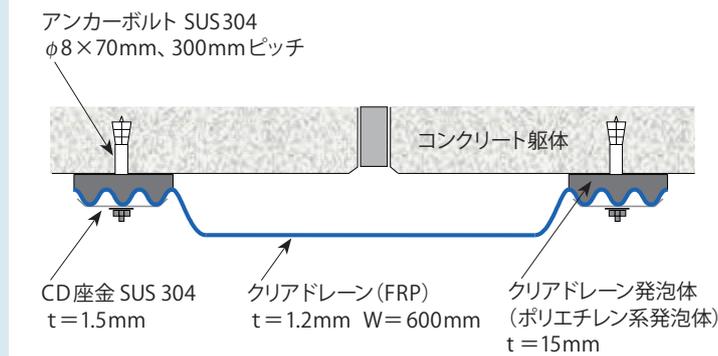


## ▶ 特長

SBクリアドレーン工法は、樋に透明なFRP板を用い、施工後も覆工コンクリートの変状確認が可能です。

また、クリアドレーン板には、はく落防止機能があり、導水とはく落対策を兼ね備えた工法です。

【標準断面図】



## 特長

- ①設置後も、躯体面の状態を常時観察できます。  
透明なFRP板の使用で、設置後も躯体面の変状を常時観察できます。
- ②はく落防止機能に優れています。  
クリアドレーン板は、剛性の高いFRP板を用いますので、はく落防止効果(約500N程度の重量)を発揮します。
- ③施工性に優れています。  
設置方法は、クリアドレーン板をアンカーで固定するだけです。
- ④維持管理が容易です。  
部分的な取り外し、取り替えが容易です。
- ⑤導水機能に優れています。  
波板状のFRP板で発泡体を均等に圧着しますので、発泡体が躯体面に追従し、漏水を完全に防ぎます。

## 施工方法

- ①クリアドレーン板の前処理  
発泡体の波状部にスプレー糊を吹き付け、クリアドレーン板の端から圧着して取り付けます。
- ②墨出し  
躯体の型枠段差等を断面修正し、平滑な面としてからSBクリアドレーンの取り付け位置をマーキングします。
- ③アンカー孔削孔  
マーキングに沿ってSBクリアドレーンを配置し、板のアンカー孔にあわせて削孔します。  
継目部は、板の下部を50mmラップさせ、次の板に被せます。
- ④SBクリアドレーンの取り付け  
アンカー孔の清掃後、CD座金を設置してアンカーボルトを打ち込み、クリアドレーンを取り付け固定します。ナットは、発泡体がコンクリート面と密着するように締め付けます。
- ⑤完成

## クリアドレーン板のはく落荷重試験

対象とするコンクリート片は、目地の周方向m当たり500N程度を想定しています。  
アンカーピッチ(30cm)と荷重安全率を考慮した上で、下表の載荷試験により、はく落防止機能を確認しました。

供試体 No.	最大荷重 (N)	最大荷重時の変位 (mm)
1	975	79.6
2	975	65.5
3	1135	83.1
平均	1028	76.1



■製造・販売

**ショーボンドマテリアル株式会社**  
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)  
<https://www.sb-material.co.jp>

■販売

**ショーボンド建設株式会社**  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)  
<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱店